

いじめ撲滅集会を行いました

11月10日（火）4時間目に、学年で「いじめ撲滅集会」を行いました。この日に向けて、各クラスの学級委員が中心となって、学級での話し合いを行い、10日の集会を迎えました。

学活1「SNSのいじめについて」

仲良しの友達をからかうつもりで写真を載せた事例について考えました。一度SNS上に載せたものは消せず、広がってしまう可能性を押さえ、どのように行動したらよいかを考えました。

学活2「菌扱いのいじめについて」

皆と違う行動をとった友達への発言からいじめに発展した事例について考えました。違いを認めることや、周囲の人の行動についても考えました。



学年での「いじめ撲滅集会」

集会では、各学級の代表が、話し合った内容と、「今後どのように行動するか」を発表しました。

その後、4人ずつのグループで、「時代とともに変化するいじめ。それに対応し、なくしていくためにどうすべきか」を話し合いました。「相手の気持ちを考える」「人はそれぞれ違うことを理解する」「考えてから行動する」「傍観者にならない」などの意見が発表されました。

子どもたちの決意を聞き、教員も、安心して生活できる学校であるよう、力を尽くしていこうと気持ちをあらたにしました。



スクールカウンセラーの杉江先生のお話

どうしたらいじめがなくなるのだろう

それぞれがたたかい続けること

人間、「100%いい人」も「100%悪い人」もいない。いじめの問題だけでなく、いろいろな場面で「いい部分」と「悪い部分」がせめぎ合って自分の行動を決めている。頭ではわかっている、行動できるとは限らない。その中で、自分の悪い部分に打ち勝つための闘いを続けることが大切。